

第1回委員会の議論のまとめと提言に向けた今後の議論のテーマ

1. 第1回委員会での事務局からの報告に対する評価（主な点）

【第1回委員会での事務局からの報告】

《委員の評価》

- 専決調達事件に起因した環境局での公金詐欺事件
- 不適正な経理処理の発生要因について

⇒違法行為に対する組織内でのチェックシステムが機能していなかった。

- ・業務上必要な物品購入であれば、不適正な経理処理は許されるという思い込み⇒公金に対する市民感覚と著しくかい離、法令遵守意識の著しい欠如
- ・会計処理制度等の制度的制約のため必要経費が措置されない実態⇒制度自体に不適正な経理処理を生む原因が内在している可能性もある。

2. 委員会の役割について

①再発防止策の実施状況の確認

⇒策定時の計画どおりに実施されているかどうか。とりわけ新たな専決調達事務処理の全所属での実施状況を確認

②再発防止策の効果の検証

⇒不適正な経理処理の再発防止として効果的な施策となっているかどうか。

③再発防止に向けた提言

3. 提言に向けて今後の委員会で議論の中核になると考えられること

○職員の意識への働きかけ

- ・調達事務の仕組みを悪用した犯罪行為である不適正経理処理と制度的な問題が要因となり、調達事務の仕組みを利用して引き起こしてしまう不適正経理処理とは根本的に異なるが、後者についても、希薄な倫理観を媒介に犯罪行為の引き金になりかねない。

○形骸化を防止すること（モニタリング）

○事務執行の効率性（簡素化）

《その他》 ○調達の当事者である事業者等の協力が不可欠である。

4. 検証のために必要であると考えられる調査等

- ・全所属での点検確認の実施
- ・新たな専決調達事務に関する職員アンケートの実施、事業者等へのアンケートの実施
- ・他自治体での専決調達事務の仕組み等の調査
- ・対象所属を限定した抽出調査（サンプリング）の実施